
ココロ

如月美希

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ココロ

【Nコード】

N4937H

【作者名】

如月美希

【あらすじ】

『永遠』なんて無いと思ってる主人公。『永遠』は不確かなモノ。だけどそれは悪い事じゃないんだ、と言う思いを込めた短編小説です。

どんなに願っても
どんなに祈っても
どんなに愛しても
たとえ、愛し合っていたとしても
いつかは別れが来るんだ。

『永遠』なんてこの世には無い。

頭では分かっているのに
『永遠』を求めてしまうのは なぜなんだろう？

「また考え事？」

不意に声をかけてきたのは、小・中・高とも同じクラスで 席は決
まっ て前後左右。

いわゆる【腐れ縁】と言うヤツだ。

「…功^{こう}には分かんないよ」

あたしの気持ちなんて…

「ああ わかんねえな！お前の気持ちなんか」

《ズサツ》

ストレート（直球）は流石にきついです。功さん。

「じゃあ話しかけてこないでよ」

「……………」

「……………」

沈黙が流れる。

先に声を発したのは功だった。

「俺はお前じゃねえからな！！それに…気持ちとか思ってる事は、言葉にしねえと誰にも分かんねえぞ」

「確かにそうだよね…」

分かってる

分かってるよ

何も言わなくても分かるとか
黙っていても伝わるとか

そんな都合のいい人いないんだって……

「なんて顔してんだよ」

功の両手が、あたしの両頬に触れる。

「こ…う…?」

功がなぜあたしの頬に触れるのか、この時のあたしには分からなかった。

「ぶちやいくが増すぞ」

そんな嫌味を言っているにも、功の顔は曇っていた。

「…ぶちやいくはもともとだもん」

あたしはそう言いながら、功の両手に自分の両手を重ねた。

功の手は温かった。

あれからどれくらいの時間が経っただろう。

隣には功が無邪気に寝ている。

手元を見れば

あたしの手を功の手が覆っている。

何も言わず、あたしの手を握ってくれていたんだね。

「ありがとう」

「どういたしまして」

！！ えっ！？

「起きてたの！？！？」

あたしは恥ずかしさを隠すように、声を張り上げた。

「誰も寝てるなんて言っただけよ」

笑いながら、功はあたしを見つめる。

あたしも功を見つめる。

この時 あたしは功なら信じられると確信したんだ。

『永遠』が無くて、
いつか別れが来て
悲しいかもしれない

けれど

それは日々成長する

『心の变化』

なんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4937h/>

ココロ

2010年12月25日20時28分発行